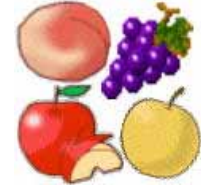




平成22年度 果樹情報 第14号

(平成22年10月7日)

福島県農林水産部研究技術室



1 気象概況(9月4～6半旬：果樹研究所)

平均気温は、平年と比較すると4半旬が21.2 で1.1 高く、5半旬が18.2 で0.9 低く、6半旬が17.5 で0.5 低く経過しました。この期間の降水量は321.6mmで平年の402%でした。

2 土壌の水分状態(果樹研究所)

9月30日現在の土壌水分(草生栽培リンゴほ場：無かん水)は、深さ20cmでpF1.8、深さ40cmでpF1.7、深さ60cmでpF1.7であり、やや過湿傾向となっています。

3 生育概況(10月1日現在：果樹研究所)

(1) ナシ

ア 収穫期と果実品質

「豊水」の収穫始めは9月21日で平年より6日遅く、収穫盛りは9月25日で平年より4日遅れました。果実の大きさは平年より小さく、糖度は高い状況でした。

表1 ナシ主要品種の収穫期と果実品質(果樹研究所調査)

品種	収穫始(月/日)			収穫盛(月/日)			収穫終(月/日)			平均果重(g)			糖度		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
豊水	9/21	9/15	9/10	9/25	9/21	9/14	9/27	9/28	9/17	342	419	440	13.7	12.4	13.0
二十世紀	9/21	9/17	9/15	9/23	9/23	9/18	9/27	9/29	9/24	439	373	434	11.4	11.0	11.1

注)平年値は、1976～2005年の平均値。

(2) リンゴ

ア 「ふじ」の果実肥大と裂果発生

「ふじ」の果実肥大を暦日で比較すると、縦径76.8mmで平年比97%、横径85.7mmで平年比100%と平年並み～やや小さい状況です。果実の生育日数による比較ではほぼ平年並みとなっています。なお、10月1日現在の「ふじ」の裂果発生は、昨年より少ない状況です。

イ 収穫期と果実品質

「つがる」の収穫始めは8月31日で平年より2日遅く、収穫盛りは9月4日で平年並みに推移しました。果実の大きさは平年より小さく、糖度はやや高い状況でした。

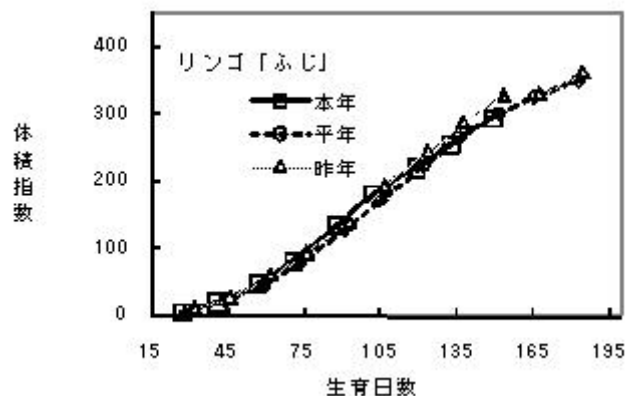


図1 果実肥大(果実の生育日数比較)
(果樹研究所 10月1日現在)

表2 リンゴの主要品種の収穫期と果実品質（果樹研究所調査）

品種	収穫始(月/日)			収穫盛(月/日)			収穫終(月/日)			平均果重(g)			糖 度		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/31	8/29	8/26	9/ 4	9/ 4	8/27	9/13	9/ 9	8/31	256	288	239	13.0	12.6	13.6
ジョーゴールド	未	10/ 9	10/ 6	未	10/14	10/ 8	未	10/19	10/15	未	371	326	未	13.4	13.4
陽光	未	10/17	10/ 7	未	10/18	10/11	未	10/19	10/15	未	341	269	未	14.2	14.0
王林	未	10/22	10/22	未	10/25	10/22	未	10/29	10/22	未	315	282	未	14.2	15.1
ふじ	未	11/13	11/16	未	11/15	11/16	未	11/26	11/16	未	350	346	未	15.1	15.8

注)平年値は、1976～2005年の平均値。未は未確定。

4 栽培上の留意点

(1) リンゴ

ア 「ふじ」の収穫前管理

「ふじ」の摘葉は10月中旬頃から実施しますが、栽培面積が多い場合は9月下旬頃から始めましょう。この場合は、1回目は軽く実施し(3～4枚程度)、10月中～下旬に再度強めに実施します。また、反射シート敷設は、10月上～中旬頃を目安に遅れないように実施しましょう。

イ 中生種の収穫

中生種の収穫は、着色の状況や地色のぬけ具合、デンブンの抜け、果実の肉質、食味等から総合的に判断しましょう。特に、樹冠上部、外周部等の直射日光の当たる着果部位や樹勢の弱い樹については、成熟の進行が早い傾向にあるので、収穫が遅れないように注意しましょう。

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病 害

ア リンゴ腐らん病

本病菌は、つる折れやつる抜けして樹上に残った果柄から侵入しやすいので、果柄が残らないように丁寧に収穫を行いましょ。また、本病の発生が認められる場合は、各品種の収穫直後に防除を実施しましょ。

イ モモせん孔細菌病

9月8日付で福島県病虫害防除所より病虫害発生予察注意報が発表されています。越冬伝染源密度の低下を図るために、収穫終了後、9月上旬～10月上旬にかけて秋季防除を2回実施しましょ。なお、新梢葉や果実での発生が多かったほ場では、収穫終了後～落葉前までに3回防除して感染を防止しましょ。

ウ ナシ黒星病

本病の発生が多かった園では、園内の越冬菌密度の低下を図るため、秋季防除を徹底しましょ。併せて、落葉処理を実施しましょ。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょ。